

TOEIC テスト  
究極のゼミ合宿  
其の十五

**THE NEW BEGINNING**  
**in KANAGAWA**

2016 年 10 月 8 日～10 日

神奈川県三浦郡葉山町

濱崎潤之輔 & ヒロ前田

# 参加資格＝次の 3 つ全部を満たすことです。

## ①TOEIC の最新保有スコアが 600 点以上、985 点以下であること&スコア UP への執念をもっていること

「最新スコア」の取得時期は問いません。公開テストであれ IP テストであれ、あなたが申し込む時点で保有する最新スコアが基準です。いつ実施されたテストなのかは関係ありません。

## ②2016 年 9 月以降の TOEIC テストを受験すること

ご存じのように 2016 年 5 月の公開テストから、出題形式が少しアップデートされました。それを「新形式」と呼ぶことにします。今回の合宿では、すべての参加者が新形式の公開テストか IP テストを受験することが前提です。受験時期は問いません。半年後でも 1 年後でも OK です。

## ③音声再生機を持ってこられること

合宿開催前に、音声（MP3 形式）が入った zip ファイルを PC にダウンロードして、それを保存した再生機器を合宿会場に持ってきていただきます。スマホではなくパソコンでインターネットを使えることが必須です。そして、合宿会場ではその音声を聴くための機器とイヤホンが必要です。再生機はスマホでも IC レコーダーでも WALKMAN でも iPod でも大丈夫です。録音機器は必要ありません。



たぶん該当者はいないと思いますが、「其の十四」（2016 年 9 月）と「其の十五」（2016 年 10 月）の連続参加はできませんのでご注意ください。（基本的に同じ内容です）

次のページへ進みなさい

## 以前、「究極のゼミ合宿」に参加した方のご感想

原吉徳さん（会社員） 授業で教えていただいたことを、その後の問題演習を通じてすぐに実践し身につける、ということが合宿では可能です。もちろん教えていただいたことは、TOEICを受験するに際して本当に役に立つことばかりでした。個人的に特に良かったと思うのが Part 3 の解き方です。おかげで Part 3 は覚醒した感があり、それに引きずられるように Part 4 もできるようになりました。

マドロスさん（会社員） 前回のリスニング集中形式ですが、先生の意図・目的が大変明確であったこと、講義での音読方法のやり方のご指導から、まだまだ自分の音読は甘いなあと痛感したことなど、色々な気づきがありました。さらに、合宿に参加されている皆さんがもの凄く真剣で意識が高いので、これも大変刺激になりました。

村上さん（会社員） 何故だかよく解りませんが、合宿参加後、勉強を毎日しないとられなくなっ  
てしまいました。意識的に自分を変えようとは思っていませんでしたが、結果的に変わってしまいました。現時点ではスコアが上がっていない人も居ると思いますが、「楽しかった・面白かった」と全員が感じていると思います。これは凄いことだと思います。

Kyoko さん（会社員）

### 【合宿前の不安→実際の合宿】

- ・講師がスパルタで怖かったらどうしよう。。。→ むしろ優しかった。終始楽しかった。
- ・授業についていけるかなあ。。。→ 内容がわからないということも、簡単すぎてつまらないということもなかった。途中で質問を何度も受け付けてくれたし、後から休憩時間に質問することもできるいい環境だった。
- ・他の参加者の雰囲気は？？→ TOEIC900 点を目指しているくらいのレベルが多かったのかなと思った。900 以上の方もいらっしゃいました。泊まり込みということもあるからか、TOEIC に関して意識の高い人が多かった。年齢層はバラバラでしたが、感じの良い方ばかりだった。

### 【合宿の良かった所】

- ・リスニングは勉強方法がわからなかったけど、やるべきことがわかった。
- ・一生懸命に勉強している他の参加者の存在が励みになった。
- ・TOEIC の勉強は楽しいなあと初めて思った。
- ・二泊三日全く飽きずに集中できた自分にびっくりした。

### 【合宿で不満だった所】

- ・特にありませんでした。

どうも。前田です。15 回目の「究極のゼミ合宿」です。今年はこれで最後。内容は神戸で開催される「其の十四」と同じです。なぜ同じにしたか。それは、後で濱崎さんが説明しているように、「不安が 1mm もない」からです。

## テーマは同じ。

「其の十四」のテーマと同じと聞いても、それが何なのかあなたは知らないかもしれません。ですので、ここから数ページかけて説明します。すでに知っている場合は、一気にスクロールして申し込みボタンをクリックしちゃってください。では、説明開始です。

このタイミングで「其の十五」を開催することは、1 月の時点で決めていましたが、当時、テーマは決めていませんでした。

これを読んでいるあなたは知っているように、2016 年 5 月から TOEIC 公開テストの出題形式が少し変わりました。が、IP テストについては、2017 年 3 月末までは従来と同じです。ですから、合宿のテーマを決める前に、どちらのテストを想定するか検討しました。4 月ごろ濱崎さんと話し合った際に、こんな話になりました。

ハ「今年、世間では新形式ばかりが話題になりますよね」  
マ「ですね。でも、IP テストを受験する人の方がやや多いかもしれないです」  
ハ「新形式のテストに占める、旧形式問題って、かなり多くないですか？」  
マ「多いです。まだ、新形式の合宿はやんなくてもいいでしょ」  
ハ「そう思います。旧形式なら ETS が韓国で出してきた良い教材がいっぱいありますし」  
マ「新形式だと、今年の秋までに公式教材は出ないでしょうね」  
ハ「それに、僕らが新形式の経験が豊富じゃない時期に、合宿やるのは大丈夫ですかね」  
マ「じゃ、とりあえず旧形式でやることにして、夏になったら再検討しましょう」

ところが、2 日間セミナーを全国で開催すればするほど、ボクたちがやっている「新形式を想定した講義」が悪くないと言うか、まあ、かなりマトモな内容になっていると判明しました。言い換えると、実際のテストが想定範囲内だと分かったということです。

ですので、7 月に仙台でマグロ丼を食べながら 2 人で話し合ったときには、考えが変わっていました。「新形式を想定した合宿にしよう」と。しかも、新形式問題に特化した内容にすることに決めました。

さらに、「形式」だけにフォーカスするのではなく、スキルにもフォーカスすることにしました。新形式の公開テストで成功するために最重要だとボクたちが考えるスキルです。

ヒトコトで言えば……

次のページへ進みなさい

## ストーリーの理解

これです。ストーリーの理解。別の言い方をすれば、「単語ではなく文脈を理解すること」です。新形式の問題が試している力です。どのパートであれ。例えば、パート3とパート4に新登場している「発話の意図や動機を問う問題（意図問題）」とか「グラフィック問題」は、明らかに単語の理解ではなく、ストーリーの理解を求める形式です。パート6の「文選択問題」も、パート7の「文を入れる位置を選ぶ問題（位置選択問題）」も同じ。そして、トリプルパッセージの全てのセットに、ほぼ確実に出題されるようになった「同義語問題」もストーリーの理解を試す問題です。パート5が10問減ったことで、当然「語彙問題」も減りましたが、代わりにパート7で増えています。パート5では「普通の語彙問題」が減り、パート7で「与えられた文脈における意味を問う同義語問題」が増えたのです。

「単語だけ聞き取って何となく選びました」とか、「単語だけ拾って読んでいって、何となく選びました」みたいなこと続けていると、英語力が伸びないのはもちろん、TOEICのスコアだって伸びませんよ。または、短期的にグインと伸びても、そこでピタッと止まります。きっと。

パート3の会話を聞いた直後に「はい、どんな会話でしたか？」と聞かれたとします。どんな答えができそうですか。拾った単語をいくつか思い出し、何となくつないで、「こんな感じ」で終わっているようでは、まったくの論外です。ストーリーを再構築できるかどうか重要。「どんな話なのか」を理解して思い出せること。それが大事です。

要するに……

# わ か っ 理解してんのか？

これを合宿のテーマに据えます。扱うのは、パート3、パート4、パート6、パート7だけ。

## 単語からストーリーへ

単語の理解よりストーリーの理解を試す問題が以前より圧倒的に多い。これが新形式の特徴です。これに対して、「単語を理解すればストーリーを理解することになるでしょ。ストーリーは単語の集まりなんだから」と思っている人が世の中にいるそうですが、答えは**No.**です。完全にノー。そういうことを信じている人は、きっと文法力が低いです。助動詞や時制などが演出するニュアンスや、話者の「気持ち」や「意図」を汲み取る力が低い。

次のページへ進みなさい



または、「**リンク**」に**気づく力**が低いのかもしれません。詳しい説明はしませんが、新形式問題に対処するうえで、最重要と言っても過言ではないスキルは、リンクに気づく力です。

「其の十四」では、ストーリーの理解を重視している新形式問題に焦点を合わせ、ひたすら練習していただきます。理解→実践 理解→実践 理解→実践 理解→実践 理解→実践 のように。

「断片的に情報を拾って、なんとなく答えを選んでいる」

それじゃ、はっきり言ってダメです。D、A、M、E。ダメ。

「文脈から考えると、(A)は**一瞬で消せた**」

「ストーリーを踏まえると、(B)と(D)は**丸出<sup>まるで</sup>ダメ**夫だった」

今後は、こんなセリフを言えるように脳ミソを改造するべきです。それが、おそらく **ETS** の狙いでもあるでしょう。ま、**ETS** が何を考えているかは気にしないにしてもハイスコアを目指すならば、「文脈」「ストーリー」を丁寧に理解する姿勢を確立することを強く推奨します。

## 合宿が終わってからがスタート

合宿中は演習や講義がメインですが、大切なのは合宿が終わってからです。合宿に限ったことではありませんが、イベントは「きっかけ」です。成果を出すための、きっかけでしかありません。ですから、ボクたちは結果を保証しません。なぜなら、合宿が終わった後の、あなたの行動を決めるのはあなたですから。ボクたちは願うだけ。あなたが、**学んだことを実践しまくる人**になることを。

教官は濱崎さんとボクです。今年は春から 2 人で 2 日間集中セミナーを何度もやってきました。その参加者の声を少し紹介します。

「HUMMER 講師の 1 問も落とさないように編み出したノウハウを余すところなく聞けてよかったです。」「前田先生、濱崎先生の本で紹介されていたとりくみ方を実際に目の当たりにして、より理解できたし、トレーニングして自分のものになんとかしたいと思いました。」「今自分がしていることに、不足しているのが何かわかり、よかったと思います。」「本文を確実に記憶できるほど読んだほうが良いと聞いてびっくりしました。これまでは、あせって読み飛ばしていたので考え違いをしていました。」「新形式だからといって決して恐れることは無いということも、今回のセミナーでわかりました。市販の問題集に載っていない、細かいテクニックも複数学べてよかったです。どうもありがとうございました。」「独学では限界があったので、今後セミナーで学んだことプラス自分の努力で目標スコアを目指します。」「今回復習のやり方をしっかり覚えたことは自分にとって財産になると思います。文章の読み方が甘すぎたと反省しています。今後、学習スタイルはがらりと変わると思います。」「TOEIC を研究しつつされている先生方の講義は、目からウロコと思えることが多かったです。」

次のページへ進みなさい

# わ か っ 理解してんのか？

これに徹底的にこだわる 2 泊 3 日にします。ボクたちが想像する参加者は、こんな人々です。

1. TOEIC の受験や英語学習が好きな人
2. 「即効の 50 点アップ」より「1 年後の 300 点アップ」に価値を感じる人
3. 学習意欲の高い人たちと一緒に、次のステージを目指して歩み始めたい人
4. 継続的に学習するようになるためのきっかけが欲しい人
5. 精神を鍛えたい人
6. 行動至上主義の人間に生まれ変わりたい人
7. 己を律する力を高めたい人
8. facebook で偉人の言葉に「いいね！」をクリックするが、まったく行動しない人
9. TOEIC が好き過ぎて家庭や職場で孤立しかかっている人
10. このリストが前回と同じであることに気づいている人

ヤル気度が高い人たちと一緒に、ひったすら英語に漬かり、TOEIC に漬かりませんか。あなたの脳ミソが溶けようが鼻血が出ようが知ったことではありません。あなたの可能性を制限している“リミッター”を外してみせます。

タイムテーブルを大まかに作ってみました。だいたいこんな感じです。

Day-1	2016 年 10 月 8 日（土）	13:00～23:00（勉強だけ）
Day-2	2016 年 10 月 9 日（日）	7:30～23:00（ほぼ勉強だけ）
Day-3	2016 年 10 月 10 日（祝）	7:30～18:00（ほぼ勉強だけ）

演習、講義、質疑応答などの「勉強時間」が、30 時間近くあります。90 分×20 回分に相当するので、この合宿だけで大学の 1 学期より多いですね。

次のページへ進みなさい

タイムテーブルはあってないようなものです。夜、23時で授業が終わる保証はありません。かなりフレキシブルな時間割。それも合宿のメリットだと考えてください。ひたすら学ぶ。日常とは違う体験をする。ひとりでは味わえない学びを味わう。一緒に、やれるだけやってみましょう。教材はこれです。

## 新形式&苦手領域を手厚く

『TOEIC テスト 新形式問題やり込みドリル』（アルク／2,052 円）という本を使います。発売は2016 年 9 月 15 日前後です。「其の十五」開催時点では市販されていますが、誰も中を見ていない前提で講義が行われます。



この本を使う理由は3つあります。1つ目は、形式変更の影響を受けたパートだけを扱っていることです。この本には、Part 3 と Part 4、そして、Part 6 と Part 7 の練習問題が 321 問も収録されています。（もちろん、設問単位で見れば旧形式も含まれていますが）

2つ目の理由は**苦手領域を手厚く**することです。セミナーで出会う人々から聞く話や、TOEIC 関連ブログから、多くの人が不安を抱える出題形式と、そうでない出題形式があることが判明しています。この本はそれを踏まえて設計されています。例えば、話者や書き手の意図を問う「意図問題」は 110 問も収録されています。これは実際のテストに換算すると 15 回分を超えます。

3つ目の理由は、この本が**合宿向きの構成**になっていることです。「1 問解いて、すぐに解説を読む」ではなく、「8 問連続で取り組んでから答え合わせ」といった構成です。解答するだけなら 2 泊 3 日も必要ありませんが、解くために合宿を開催するわけではありません。講義や質疑応答、丁寧な復習、学習法の実践などなど盛りだくさんです。



「其の十五」の参加費は 43,200 円（税込）です。この中に、宿泊（2 泊）＋食事（6 回）＋授業料が含まれています。（本は自己手配していただきます） 計算しなくても分かるように、はっきり言って激安です。おまけに会場は葉山。別荘地として知られ、海岸沿いには著名人の自宅や別荘が多くある有名な場所です。交通は便利ではありませんが、勉強するにはもってこいの環境です。

次のページへ進みなさい



すべてのセッションが研修室内で行われます。



「自由」を完全に失う覚悟をしてください。



富士山の近く。快適なロケーションです。



ちなみにこの合宿の PV が YouTube にあります。現場の雰囲気を見ることができます。

→ <https://youtu.be/kTcSKxRkZSQ>

次のページに進みなさい



日時：2016年10月8日（土）13時～10日（祝）18時 ＊集合はJR 逗子駅 11:15 前後  
会場：神奈川県三浦郡葉山町（詳細は申込者にお伝えします。「其の十二」とは異なる場所です）  
定員：28名（多少前後する可能性あり／全員シングルルーム）  
教官：濱崎潤之輔、ヒロ前田  
費用：参加費 43,200 円（税込／2泊6食付き／教材は自己手配）

＊最終日は、京浜急行バスで JR 逗子駅に戻ります。（逗子駅に 19 時ごろ到着予定）

## ご注意ください

部屋と食事の確保、キャンセル規定などの都合で、**第一次申込締切日は2016年9月16日（金）の24時**です。その前に空席がなくなれば締め切られますが、空席があれば二次募集を行います。（ただし、ほぼ毎回「キャンセル待ち」が発生しているので、その可能性は低いです）

ご入金の方法はメールでお知らせします。**ご入金後のキャンセルには最大1万円の取消料が発生します**ので、確実に参加できることを確認してからお申し込みください。「申し込みだけして、後でキャンセル」というケースがありますが、それが原因で、日程的には参加できるのに席がないから参加できない人が発生します。やむを得ない事情がある場合は仕方ありませんが、参加可能であることを確認してからお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S44331966/>

## 申込方法

「TOEIC テスト究極のゼミ合宿 其の十五」への参加を希望される方は、下のフォームからお申し込みください。（完了後、自動でメールが送られ、ご入金方法が伝えられます）

[お申込みはこちら](https://ws.formzu.net/dist/S44331966/)

リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/dist/S44331966/>

スマートフォンからも申込可能ですが、**PCで読めるメールアドレス**をご登録ください。

次のページへ進みなさい

# 受講特典

ちゃんと利用すれば、これらは強力なメリットになります。1つ目の「質疑応答」には有効期限がありますので、ご注意ください。

## 質疑応答

合宿で使う本に収録されている練習問題について、質問していただければ回答します。通常、1日～3日以内に返事を差し上げています。質問には個別にメールで対応します。ただし、無期限で受け付けるわけにはいかないので、**2016年11月30日まで有効**とします。

## 「究極のゼミ合宿」メンバー専用SNSグループの利用権

facebookに、合宿参加者専用の交流スペースがあり、130名以上が利用しています。スコア報告をする人、学習記録を書く人、雑談を書く人、いろいろです。あくまでも「特典」ですから、利用は必須ではありません。facebookを使っていない場合は、無理にアカウントを登録していただく必要はありません。



# 追伸

今年は「Starting Over 2016 Japan Tour」・全国7大都市での2 Day セミナーを開催してきました。やる気漲る最高に熱い全国の学習者のみなさんと、意義ある時間を共に過ごすことができました。今回開催される「究極のゼミ合宿 其の十五 神奈川」をもって、2016年の「究極のゼミ合宿シリーズ」は終わります。これが今年最後です。

今までの「究極のゼミ合宿」では、1つの開催と次の開催日を数カ月離すようにしていました。

では、なぜ今回は9月、そして10月と連続開催なのでしょう。

9月に合宿を開催し、そこでの参加者のみなさまとのやり取りをふまえて、今一度新形式対策というものを僕たち二人で再検討するほうが良いのではないかと一瞬考えたのは事実です。

ですが、不安は1mmもありません。

Starting Over をこの半年間続けて、参加者のみなさまの反応を直接感じ、「何をどう学ぶことが（新形式対策として）最も重要なのか」に対する答え。それが何なのかを掴んだと確信したのです。

だから9月も10月も同じ内容でやることに決めたのです、関東と関西で、僕たち二人の新形式対策の集大成を体感してください。そしてそれは必ずやあなたの人生を、TOEIC を通じて切り開くきっかけとなるはず。「本気で取り組みたいあなた」を、心よりお待ちしております。

一緒にがんばっていきましょう。

濱崎潤之輔

次のページへ進みなさい



## はじめに

「新しいTOEICテストの特徴をひとこと言うと？」

ある雑誌のライターから受けた質問です。2016年2月のことでした。新形式による実際のテストが始まる前でしたが、ボクはこう答えました。「単語からストーリーへ」と。2016年4月以前の出題形式に比べると、5月以降は「ストーリーの理解」が成功の鍵を握るという意味です。

実際、2016年5月以降の公開テストと、韓国で発売されているETS制作の問題集を調べてみると、「ストーリーの理解」を求める設問が明らかに増えています(詳細は省きますが、これは「項目別正答率」にも色濃く表れています)。そこで、次の2つの視点を重視して本書を設計しました。

### 1. ストーリーの理解が求められる設問をたくさん収録する

本書には本番と同じ形式の練習問題が249問も収録されており、「意図問題」「文選択問題」「位置選択問題」といった、ストーリーの理解が絶対に必要となる設問が大量に詰まっています。さらに、初級者から上級者まで多くの受験者がミスしがちな「同義語問題」を大量に収録しました。2016年5月以降の公開テストにおいて、Part 7の「同義語問題」が急増したからです。「同義語問題」は、与えられた文脈における単語やフレーズの意味を問う形式ですから、「単語からストーリーへ」という新傾向に見事に合致します。

### 2. 受験者が苦手意識を持つ問題タイプを徹底的に扱う

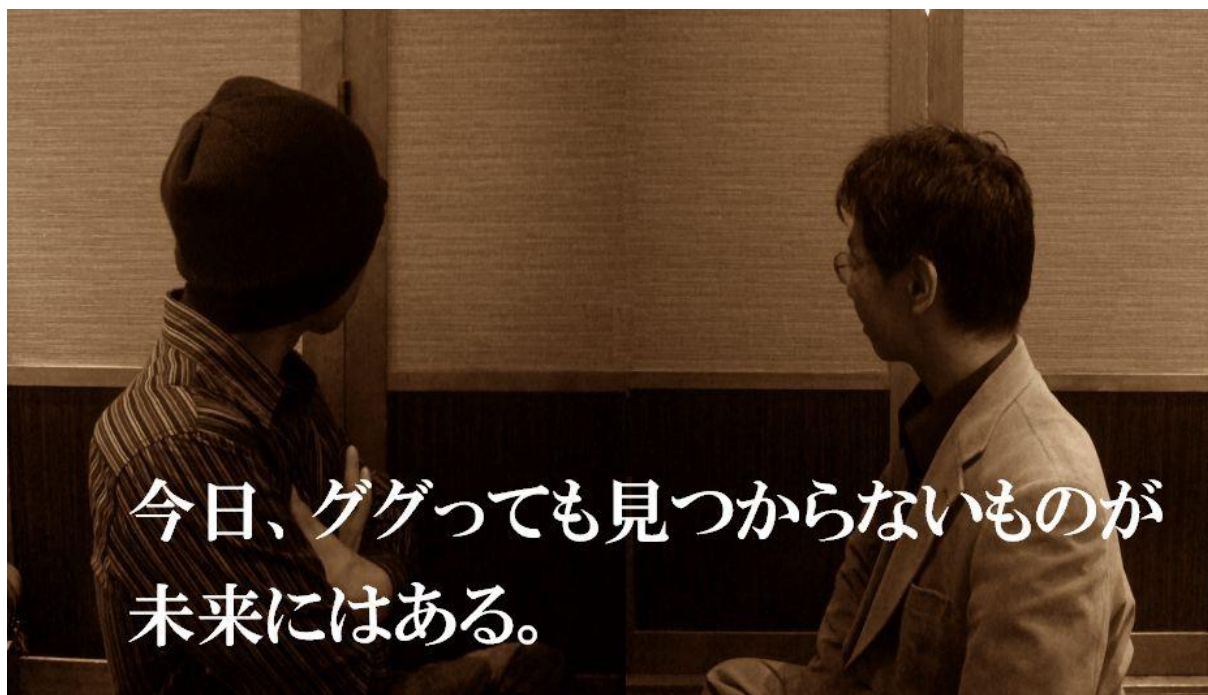
ボクはセミナーを開催するたびに、参加者が抱える不安に耳を傾けてきました。その結果、Part 3、Part 4、Part 7に出題される「意図問題」が圧倒的No. 1であることが分かりました。分かった以上、何もしないわけにはいきませんでした。本書には、本編とは別に「3文トレーニング」(P. 65参照)が用意されています。それにより、本書に収録された「意図問題」の総計は、実に110問に及び、実際のテストに換算すると15回分を超えます。本書でしっかり鍛えれば、近い将来、あなたは「意図問題は楽勝」と感じるようになるでしょう。

本編と「3文トレーニング」を合わせた、練習問題の総計は321問です。ぜひ、徹底的にやり込んでください。あなたの目標スコア達成を願っています。

第211回TOEIC公開テスト 結果発表の日に

著者代表 ヒロ前田

あなたの未来は、あなたが創る。



例えば、今日、あなたが自分のスコアや喜びの声をインターネットに載せたとします。グーグルは、きっと、すぐにそれを発見し、検索結果に表示するでしょう。

でも、あなたが未来に書く喜びの声を、グーグルはすぐには見つけられません。当然です。それは、あなたが自分で創り出す未来だけに存在しますから。

今日とは違う未来に向かって歩みましょう。

ヒロ前田

これで終わりです